

2022 年度 学生生活に関する調査

結果まとめ

対象者数： 2022年度在籍の学部生（計 5,510 名）

回答数（率）： 1,260 名（回答率 22.9%）

1 年生：514 名（回答率 38.4%）

2 年生：239 名（回答率 17.8%）

3 年生：255 名（回答率 18.3%）

4 年生：252 名（回答率 17.5%）

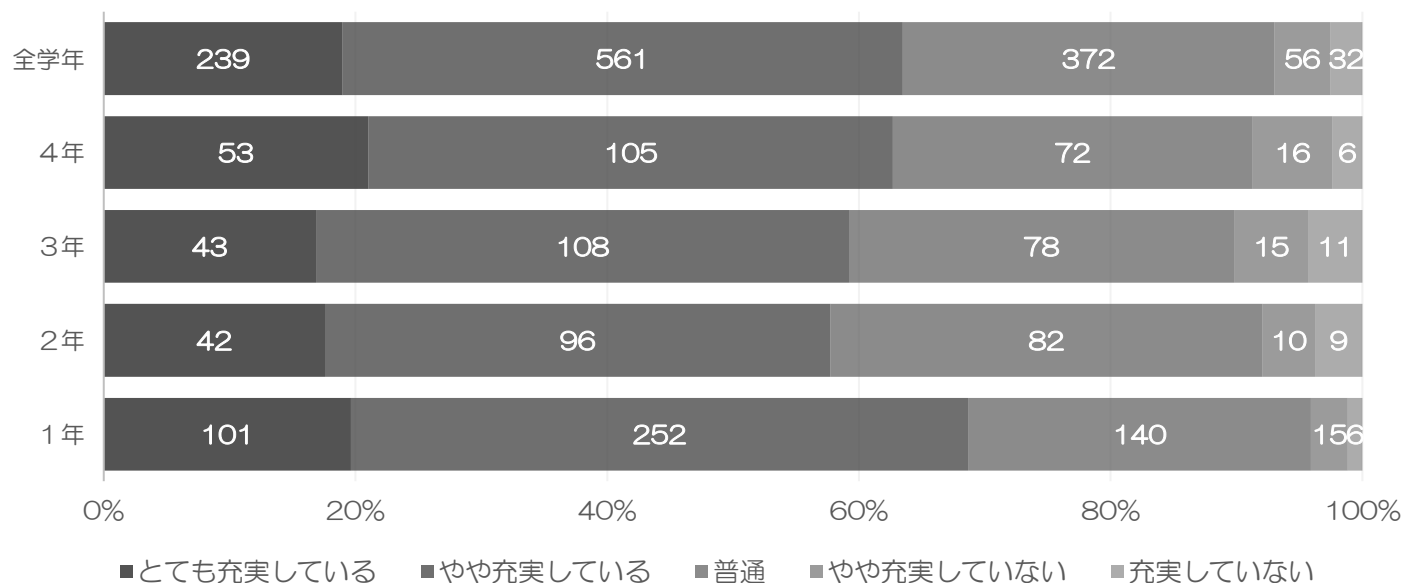
I. アンケートの概要

調査は、2023年1月から2月にかけて全学生を対象にユニバーサルパスポートのアンケート機能を用いて実施した。設問は、大学生活への期待、現在の学生生活の充実度、アルバイトの状況、人とのつながりの状況、心身の健康状態、就学への懸念、から構成されている。

II. 結果

1. 東北福祉大学での学生生活は充実していますか。

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
とても充実している	101	20%	42	18%	43	17%	53	21%	239	19%
やや充実している	252	49%	96	40%	108	42%	105	42%	561	45%
普通	140	27%	82	34%	78	31%	72	29%	372	30%
やや充実していない	15	3%	10	4%	15	6%	16	6%	56	4%
充実していない	6	1%	9	4%	11	4%	6	2%	32	3%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

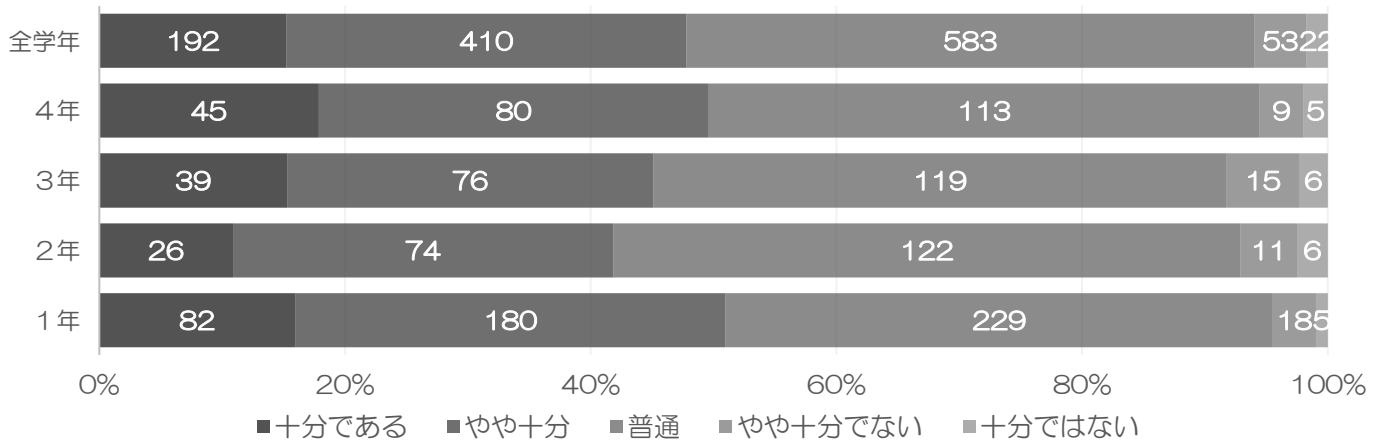


<まとめ>

- ◆ 学生生活が「とても充実」「やや充実」している学生は、全体で64%であり、昨年度(58%)より上昇した。
- ◆ 「とても充実している」は全学年19%であり、4年が21%と高く、つぎに1年、2年、3年の順であった。
- ◆ 一方、「やや充実していない」「充実していない」学生は、全体で7%であった。うち、「充実していない」は全学年3%であり、1年が1%と低く、2年と3年が同じ4%と高かった。
- ◆ 学生生活の充実について、2年と3年が低い傾向にあり、コロナ禍の期間が長かった影響が推察された。

2. 学生生活（授業以外）での大学のサポート支援・体制は全般的に見て十分だと思いますか。

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十分である	82	16%	26	11%	39	15%	45	18%	192	15%
やや十分	180	35%	74	31%	76	30%	80	32%	410	33%
普通	229	45%	122	51%	119	47%	113	45%	583	46%
やや十分でない	18	4%	11	5%	15	6%	9	4%	53	4%
十分ではない	5	1%	6	3%	6	2%	5	2%	22	2%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%



■ 「やや十分でない」「十分ではない」と答えられた方は、その理由をお聞かせください。

【連絡、広報】に関する内容

・何をどこに相談すればよいのかわからない。大学内での支援機関の存在を、もっと分かりやすく学生たちに伝えてほしい（1年）

【施設、学食】に関する内容

- ・食堂が毎回長蛇の列になっているためにご飯を食べる時間が作れない。学食の営業時間が少し短い（1年）
- ・図書館の利用できる時間が短い、土日でも使用したい（3年）
- ・学生同士で勉強をできる場所がない。学食が使用できるが、昼食の時間は使用しないと言われる（4年）

【資格取得】に関する内容

- ・資格取得できる機会を増やしてほしい（1年）

【経済的サポート】に関する内容

- ・学費等の減免制度や、他大学のような給付型奨学金制度を作って欲しい。もっと幅を広げて欲しい（1年）

【人間関係・活動】に関する内容

- ・思い描いた友人関係を作れなかった（1年）
- ・コロナによる制限が長い、きついです。部活動やゼミでの活動がとても制限され、やりたいことができなかつた（4年）
- ・コロナ禍という事もあるが、友人関係の構築、或いは同じゼミ生、演習生間の交流が乏しく、勉強だけの大学生活、というように充実しているとは言い切れないと感じた。語れる思い出がないことは寂しいと感じる（3年）

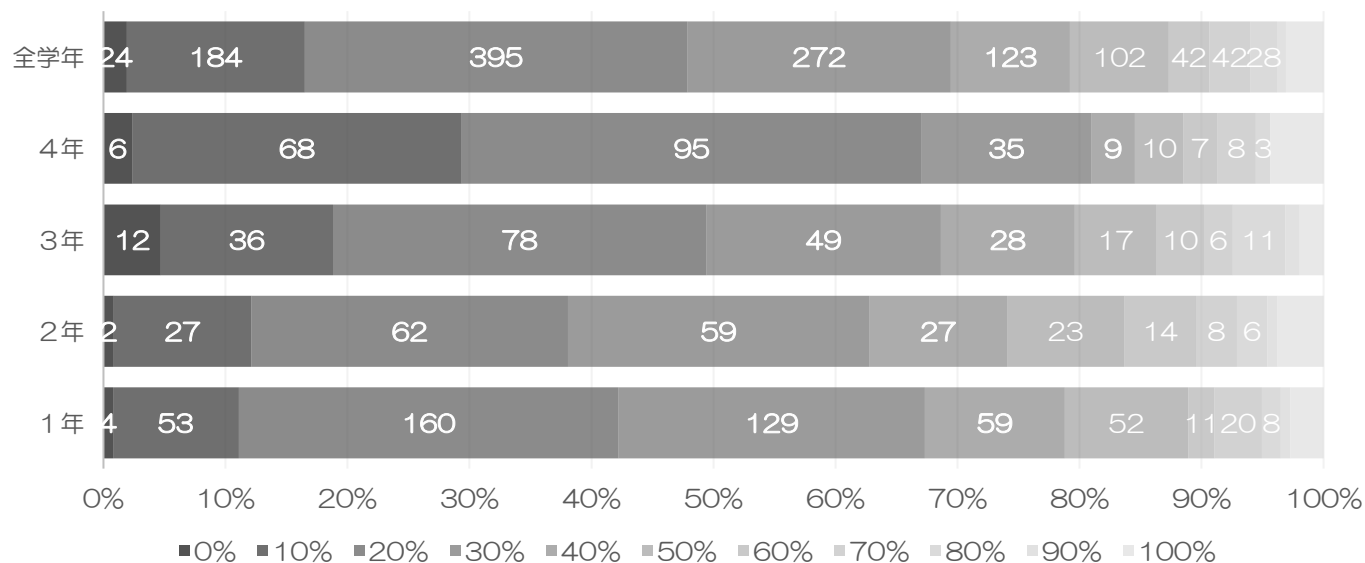
<まとめ>

- ◆ 大学のサポート支援・体制は「十分である」「やや十分」と回答した学生は、全体で48%であった。
- ◆ 大学のサポート支援・体制は「やや十分でない」「十分ではない」と回答した学生は、全体で6%であった。
- ◆ 充分ではない理由として、【連絡、広報】、【施設、学食】、【資格取得】、【経済的サポート】、【人間関係・活動】に関する内容などがみられた。

3. 今年度の活動時間の合計を「100%」とした場合、A~Gのそれぞれの活動時間はおよそ何%でしたか。

a : 「授業」

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0%	4	1%	2	1%	12	5%	6	2%	24	2%
10%	53	10%	27	11%	36	14%	68	27%	184	15%
20%	160	31%	62	26%	78	31%	95	38%	395	31%
30%	129	25%	59	25%	49	19%	35	14%	272	22%
40%	59	11%	27	11%	28	11%	9	4%	123	10%
50%	52	10%	23	10%	17	7%	10	4%	102	8%
60%	11	2%	14	6%	10	4%	7	3%	42	3%
70%	20	4%	8	3%	6	2%	8	3%	42	3%
80%	8	2%	6	3%	11	4%	3	1%	28	2%
90%	4	1%	2	1%	3	1%	0	0%	9	1%
100%	14	3%	9	4%	5	2%	11	4%	39	3%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

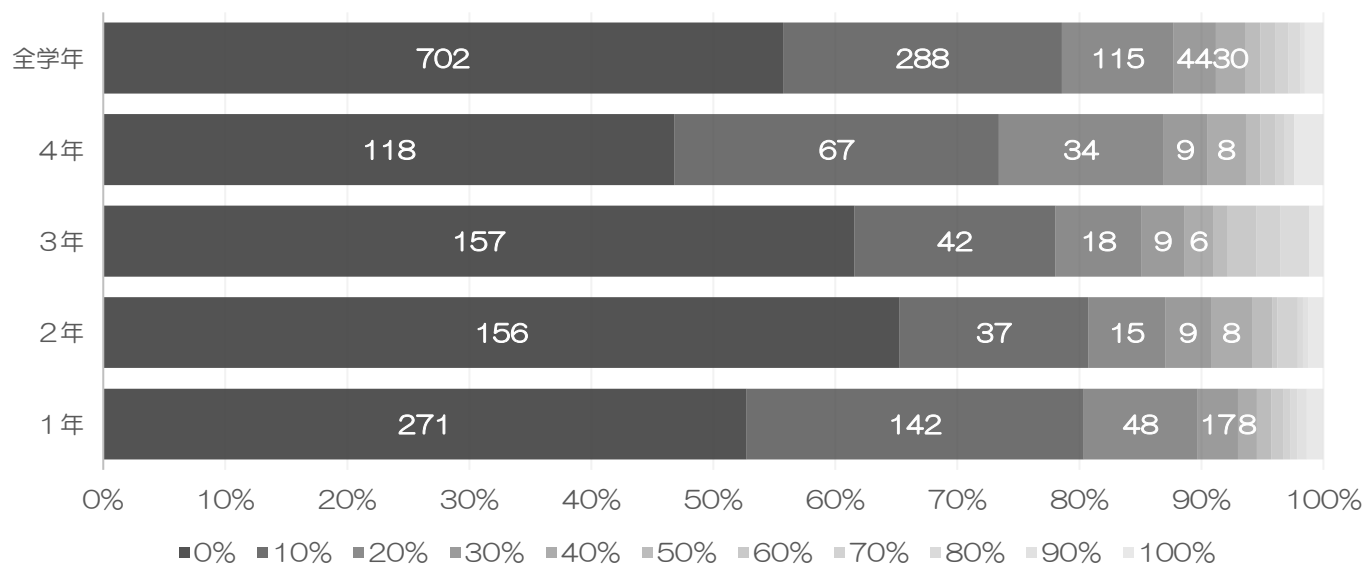


<まとめ>

- ◆ 活動時間のうち「授業」の割合が高い順に、全体で「20%」は31%、「30%」は22%、「10%」は15%の順であった。
- ◆ 学年別にみても、割合が最も高いのは「20%」であり、1年31%、2年26%、3年31%、4年38%であった。
- ◆ 割合が2番目に高いのは、1年・2年・3年は「30%」であったが、4年だけは「10%」と違いがみられた。

b：「部・サークル活動」（ボランティア以外）

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
0%	271	53%	156	65%	157	62%	118	47%	702	56%
10%	142	28%	37	15%	42	16%	67	27%	288	23%
20%	48	9%	15	6%	18	7%	34	13%	115	9%
30%	17	3%	9	4%	9	4%	9	4%	44	3%
40%	8	2%	8	3%	6	2%	8	3%	30	2%
50%	6	1%	4	2%	3	1%	3	1%	16	1%
60%	5	1%	1	0%	6	2%	3	1%	15	1%
70%	3	1%	4	2%	5	2%	2	1%	14	1%
80%	3	1%	1	0%	6	2%	2	1%	12	1%
90%	4	1%	1	0%	0	0%	0	0%	5	0%
100%	7	1%	3	1%	3	1%	6	2%	19	2%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

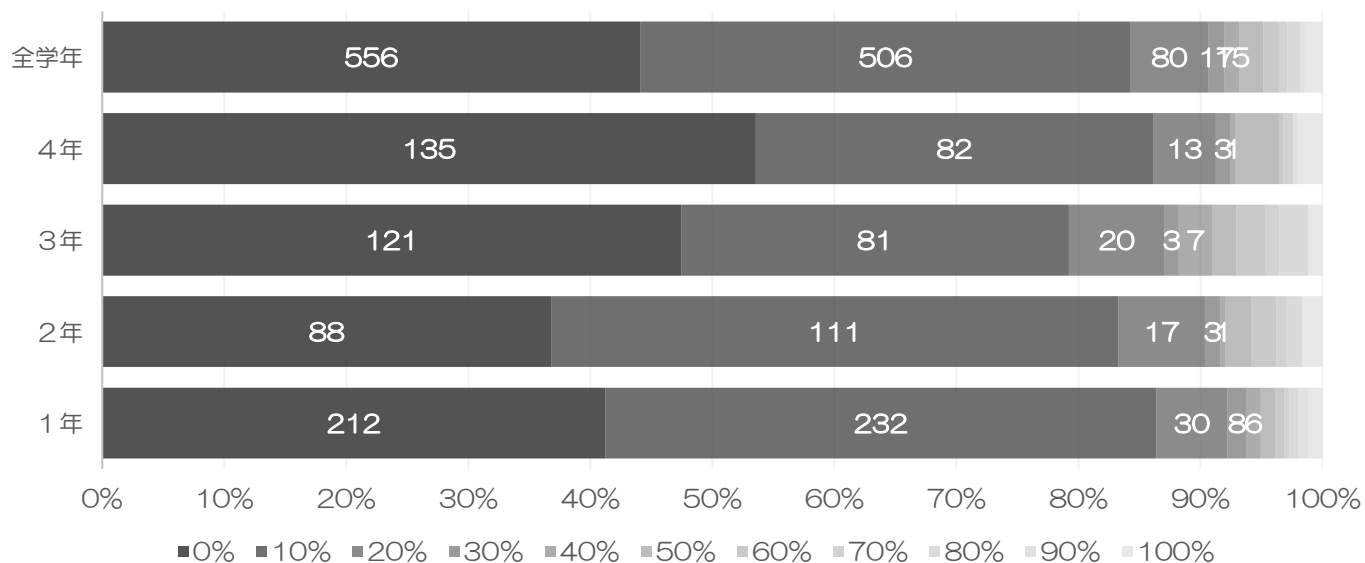


<まとめ>

- ◆ 活動時間のうち「部・サークル活動」の割合が高い順に、全体で「0%」は 56%、「10%」は 23%、「20%」は 9%の順であった。今年度は「部・サークル活動」ができにくかった現状がうかがえた。
- ◆ 学年別にみても、割合が最も高いのは「0%」であり、1年 53%、2年 65%、3年 62%、4年 47%であった。
- ◆ 割合が2番目に高いのも全学年同じく「10%」であり、1年 28%、2年 15%、3年 16%、4年 27%であった。

c : 「ボランティア活動」…授業外時間を活用した予習・復習・準備等のための話し合い等

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
0%	212	41%	88	37%	121	47%	135	54%	556	44%
10%	232	45%	111	46%	81	32%	82	33%	506	40%
20%	30	6%	17	7%	20	8%	13	5%	80	6%
30%	8	2%	3	1%	3	1%	3	1%	17	1%
40%	6	1%	1	0%	7	3%	1	0%	15	1%
50%	6	1%	5	2%	5	2%	9	4%	25	2%
60%	4	1%	5	2%	6	2%	1	0%	16	1%
70%	2	0%	2	1%	3	1%	2	1%	9	1%
80%	4	1%	3	1%	6	2%	0	0%	13	1%
90%	4	1%	0	0%	0	0%	1	0%	5	0%
100%	6	1%	4	2%	3	1%	5	2%	18	1%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

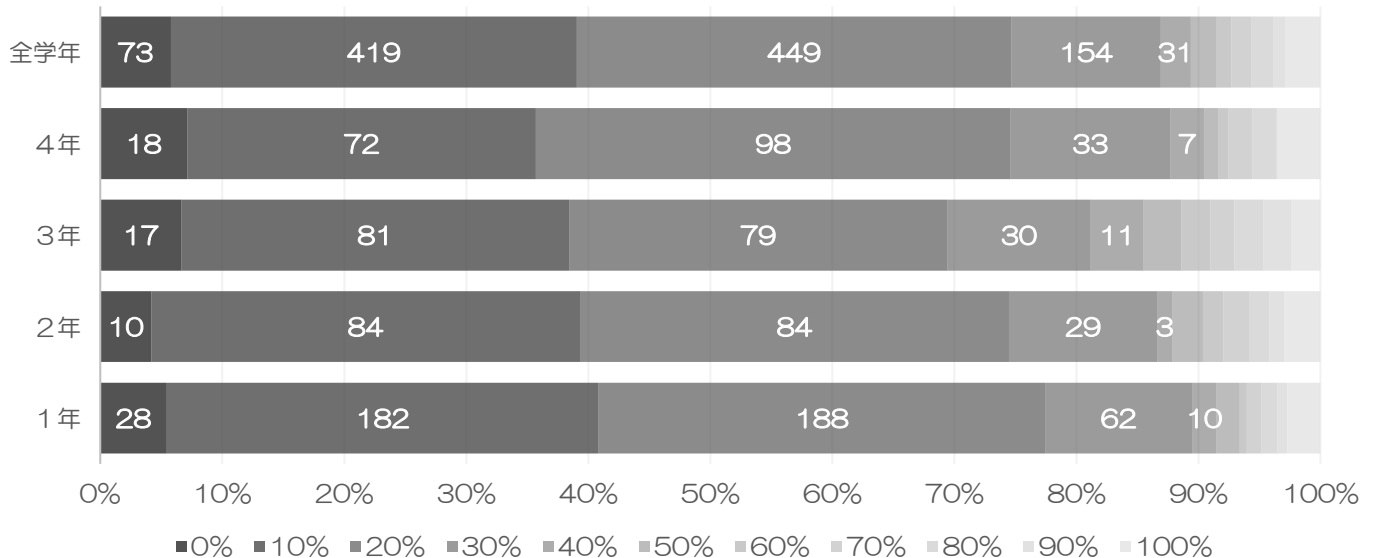


<まとめ>

- ◆ 活動時間のうち「ボランティア活動」の割合が高い順に、全体で「0%」は 44%、「10%」は 40%、「20%」は 6%の順であった。今年度は「ボランティア活動」もできにくかった現状がうかがえた。
- ◆ 学年別にみると、割合が最も高いのは、1年・3年・4年は「0%」であったが、2年だけは「10%」が 46%と違いがみられた。
- ◆ 割合が2番目に高いのは、1年・3年・4年は「10%」であったが、2年だけは「0%」が 37%であった。

d : 「友人関係」

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
0%	28	5%	10	4%	17	7%	18	7%	73	6%
10%	182	35%	84	35%	81	32%	72	29%	419	33%
20%	188	37%	84	35%	79	31%	98	39%	449	36%
30%	62	12%	29	12%	30	12%	33	13%	154	12%
40%	10	2%	3	1%	11	4%	7	3%	31	2%
50%	10	2%	6	3%	8	3%	3	1%	27	2%
60%	3	1%	4	2%	6	2%	2	1%	15	1%
70%	6	1%	5	2%	5	2%	5	2%	21	2%
80%	7	1%	4	2%	6	2%	5	2%	22	2%
90%	4	1%	3	1%	6	2%	0	0%	13	1%
100%	14	3%	7	3%	6	2%	9	4%	36	3%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

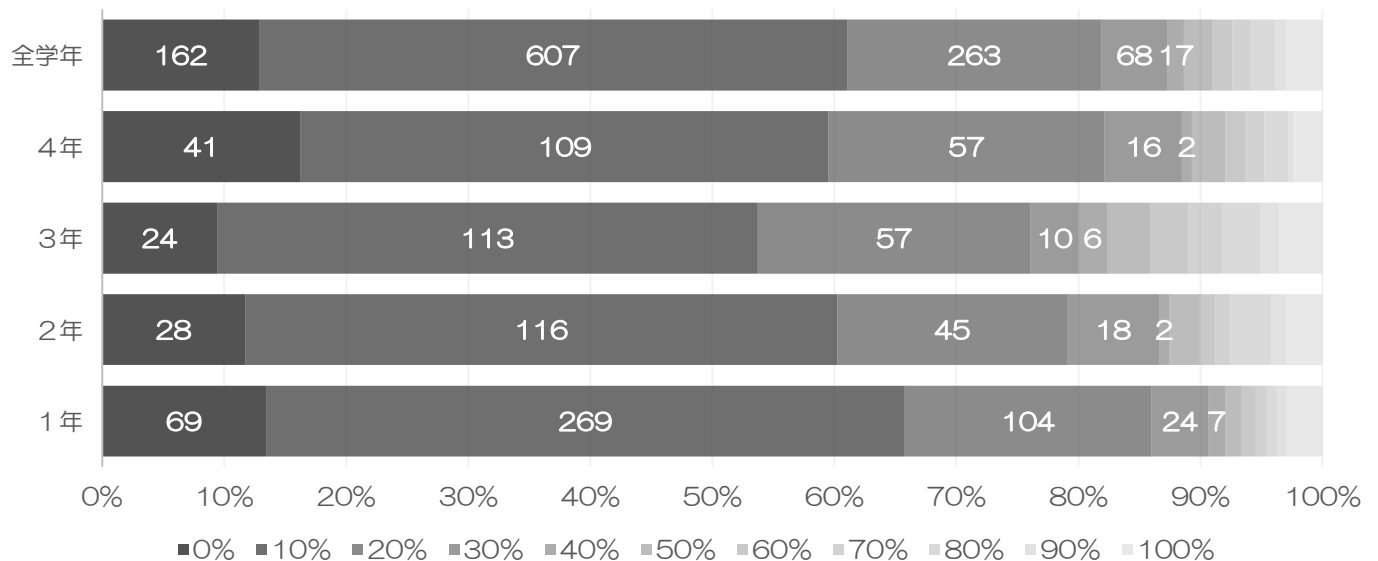


<まとめ>

- ◆ 活動時間のうち「友人関係」の割合が高い順に、全体で「20%」は 36%、「10%」は 33%、「30%」は 12%の順であった。
- ◆ 学年別にみると、割合が最も高いのは、1年・4年は「20%」、3年は「10%」であった。2年は「20%」と「10%」が同じ35%であった。
- ◆ 活動時間のうち「友人関係」の割合が「0%」は全体で6%であり、3年と4年は同じ7%の割合で、友人関係の時間がない現状がわかった。

e : 「趣味・娯楽」

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
0%	69	13%	28	12%	24	9%	41	16%	162	13%
10%	269	52%	116	49%	113	44%	109	43%	607	48%
20%	104	20%	45	19%	57	22%	57	23%	263	21%
30%	24	5%	18	8%	10	4%	16	6%	68	5%
40%	7	1%	2	1%	6	2%	2	1%	17	1%
50%	7	1%	6	3%	9	4%	7	3%	29	2%
60%	6	1%	3	1%	8	3%	4	2%	21	2%
70%	5	1%	3	1%	7	3%	4	2%	19	2%
80%	4	1%	8	3%	8	3%	5	2%	25	2%
90%	4	1%	3	1%	4	2%	1	0%	12	1%
100%	15	3%	7	3%	9	4%	6	2%	37	3%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

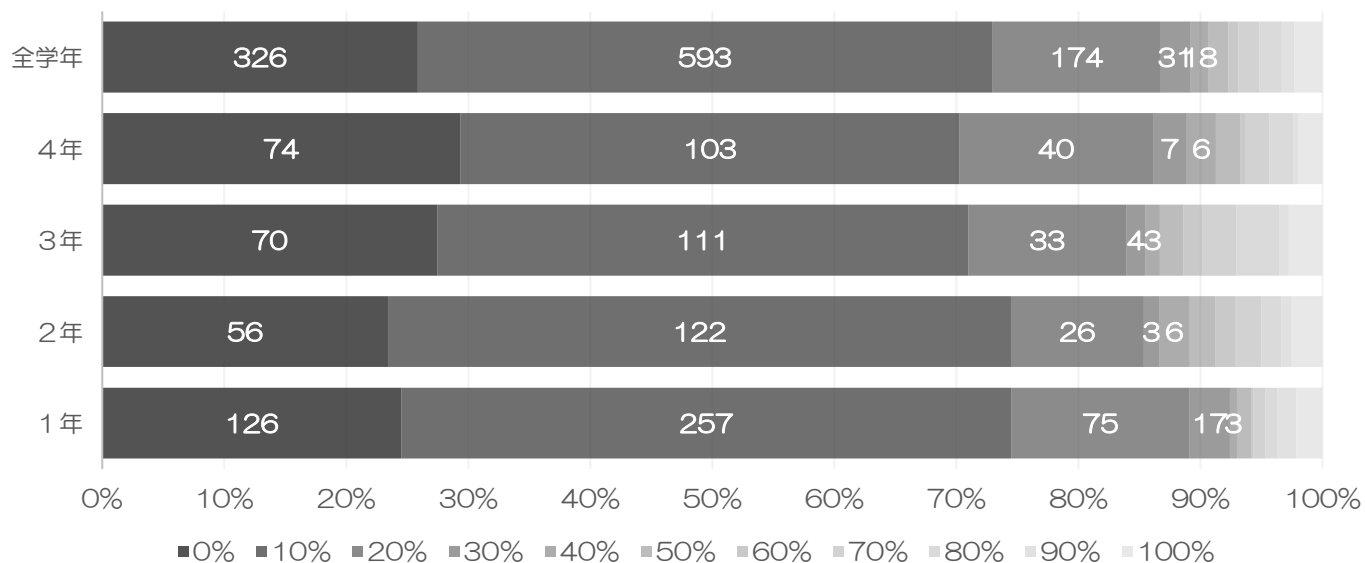


<まとめ>

- ◆ 活動時間のうち「趣味・娯楽」の割合が高い順に、全体で「10%」は 48%、「20%」は 21%、「0%」は 13%の順であった。
- ◆ 学年別にみても、順位は同じであった。
- ◆ 活動時間のうち「趣味・娯楽」の割合が「0%」は全体で 13%であり、1 年は 13%、2 年は 12%、3 年は 9%、4 年は 16%の割合で、「趣味・娯楽」の時間がない現状がわかった。

f : 「アルバイト」

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
0%	126	25%	56	23%	70	27%	74	29%	326	26%
10%	257	50%	122	51%	111	44%	103	41%	593	47%
20%	75	15%	26	11%	33	13%	40	16%	174	14%
30%	17	3%	3	1%	4	2%	7	3%	31	2%
40%	3	1%	6	3%	3	1%	6	2%	18	1%
50%	6	1%	5	2%	5	2%	5	2%	21	2%
60%	1	0%	4	2%	4	2%	1	0%	10	1%
70%	5	1%	5	2%	7	3%	5	2%	22	2%
80%	5	1%	4	2%	9	4%	5	2%	23	2%
90%	8	2%	2	1%	2	1%	1	0%	13	1%
100%	11	2%	6	3%	7	3%	5	2%	29	2%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

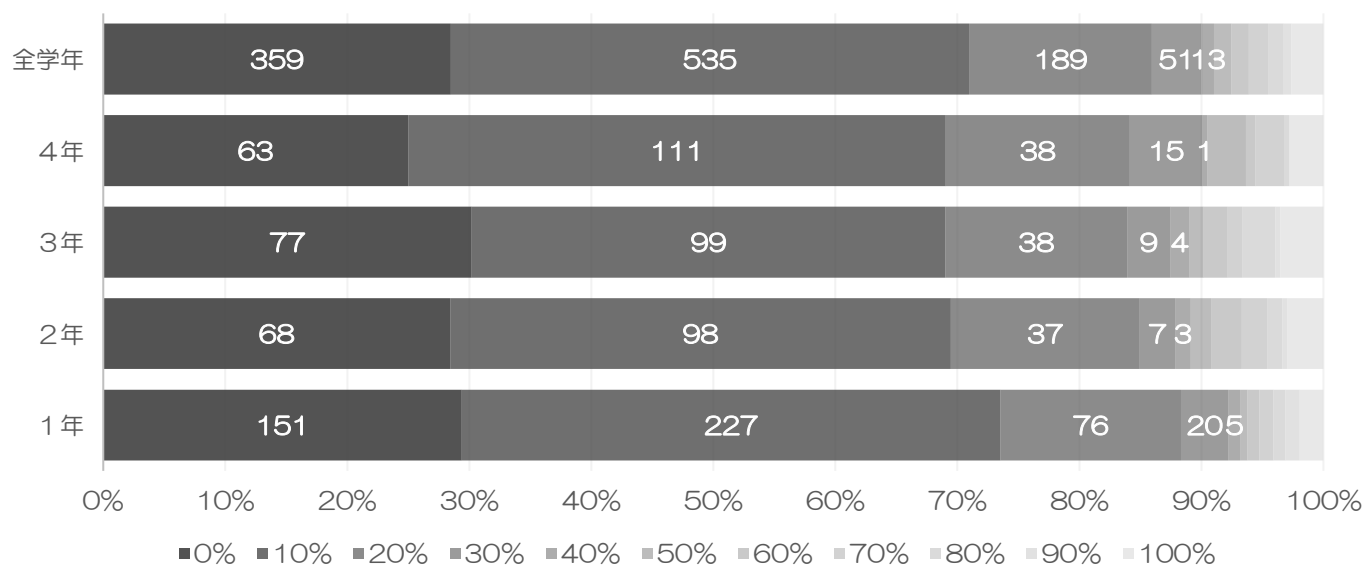


<まとめ>

- ◆ 活動時間のうち「アルバイト」の割合が高い順に、全体で「10%」は 47%、「0%」は 26%、「20%」は 14%の順であった。
- ◆ 学年別にみても、順位は同じであった。
- ◆ 活動時間のうち「アルバイト」の割合が「0%」は全体で 26%であり、1年 は 25%、2年 は 23%、3年 は 27%、4年 は 29%の割合で、「アルバイト」の時間がない現状がわかった。

g : 「資格・免許等取得」

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
0%	151	29%	68	28%	77	30%	63	25%	359	28%
10%	227	44%	98	41%	99	39%	111	44%	535	42%
20%	76	15%	37	15%	38	15%	38	15%	189	15%
30%	20	4%	7	3%	9	4%	15	6%	51	4%
40%	5	1%	3	1%	4	2%	1	0%	13	1%
50%	3	1%	4	2%	3	1%	8	3%	18	1%
60%	5	1%	6	3%	5	2%	2	1%	18	1%
70%	6	1%	5	2%	3	1%	6	2%	20	2%
80%	5	1%	3	1%	7	3%	1	0%	16	1%
90%	6	1%	1	0%	1	0%	0	0%	8	1%
100%	10	2%	7	3%	9	4%	7	3%	33	3%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

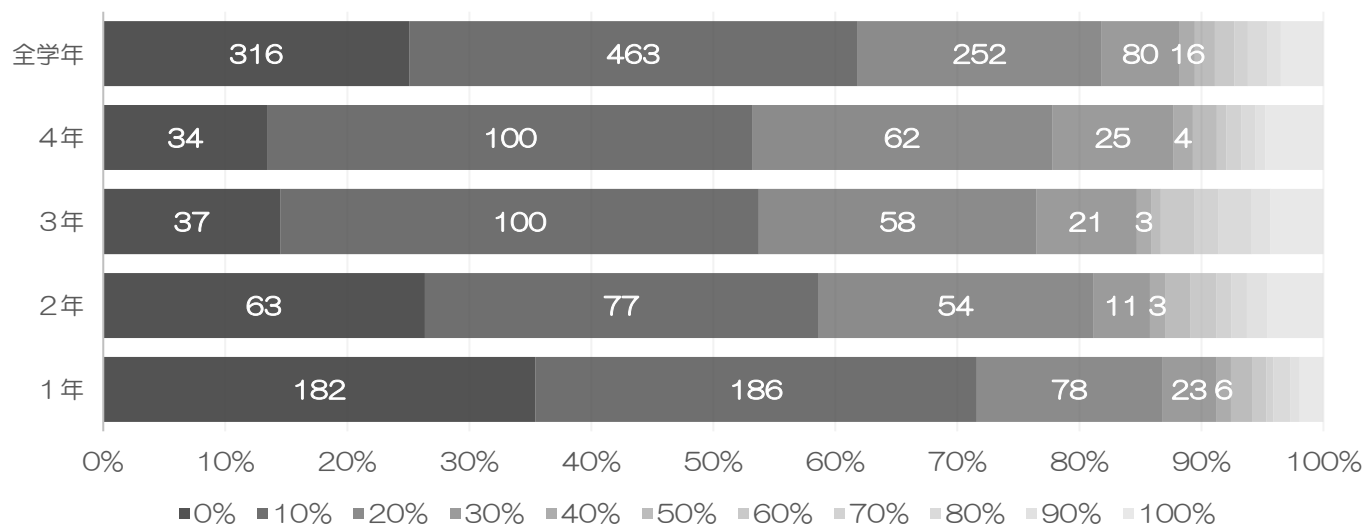


<まとめ>

- ◆ 活動時間のうち「資格・免許等取得」の割合が高い順に、全体で「10%」は 42%、「0%」は 28%、「20%」は 15% の順であった。
- ◆ 学年別にみても、順位は同じであった。
- ◆ 活動時間のうち「資格・免許等取得」の割合が「0%」は全体で 28%であり、1 年は 29%、2 年は 28%、3 年は 30%、4 年は 25%の割合で、「資格・免許等取得」の時間がない現状がわかった。

h : 「就職・進学」

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
0%	182	35%	63	26%	37	15%	34	13%	316	25%
10%	186	36%	77	32%	100	39%	100	40%	463	37%
20%	78	15%	54	23%	58	23%	62	25%	252	20%
30%	23	4%	11	5%	21	8%	25	10%	80	6%
40%	6	1%	3	1%	3	1%	4	2%	16	1%
50%	9	2%	5	2%	2	1%	5	2%	21	2%
60%	6	1%	5	2%	7	3%	2	1%	20	2%
70%	3	1%	3	1%	5	2%	3	1%	14	1%
80%	7	1%	3	1%	7	3%	3	1%	20	2%
90%	4	1%	4	2%	4	2%	2	1%	14	1%
100%	10	2%	11	5%	11	4%	12	5%	44	3%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

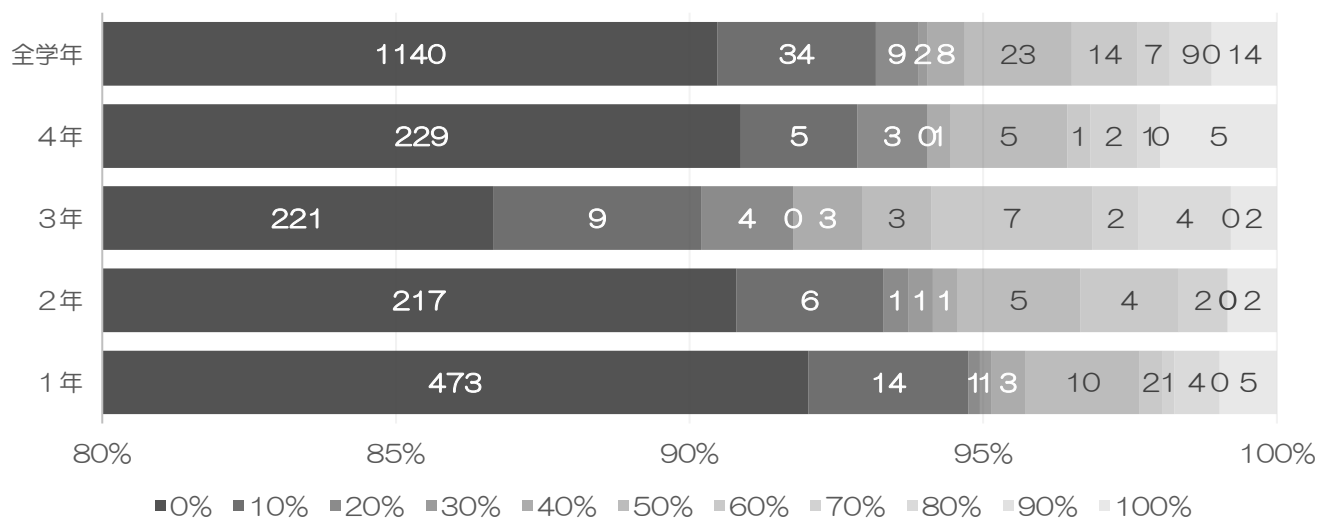


<まとめ>

- ◆ 活動時間のうち「就職・進学」の割合が高い順に、全体で「10%」は 37%、「0%」は 25%、「20%」は 20%の順であった。
- ◆ 学年別にみても、割合が最も高いのは「10%」であり、1年 39%、2年 32%、3年 39%、4年 40%であった。
- ◆ 割合が2番目に高いのも全学年同じく「10%」であり、1年 28%、2年 15%、3年 16%、4年 27%であった。
- ◆ 活動時間のうち「就職・進学」の割合が「0%」は全体で 25%であり、1年は 35%、2年は 26%、3年は 15%、4年は 13%の割合であった。「就職・進学」の活動時間がない割合は、学年が上がっていくと減少していることがわかったが、4年でも 13%いるという回答結果であった。

i: 「その他」

	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		全学年	
0%	473	92%	217	91%	221	87%	229	91%	1140	90%
10%	14	3%	6	3%	9	4%	5	2%	34	3%
20%	1	0%	1	0%	4	2%	3	1%	9	1%
30%	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	2	0%
40%	3	1%	1	0%	3	1%	1	0%	8	1%
50%	10	2%	5	2%	3	1%	5	2%	23	2%
60%	2	0%	4	2%	7	3%	1	0%	14	1%
70%	1	0%	2	1%	2	1%	2	1%	7	1%
80%	4	1%	0	0%	4	2%	1	0%	9	1%
90%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
100%	5	1%	2	1%	2	1%	5	2%	14	1%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%

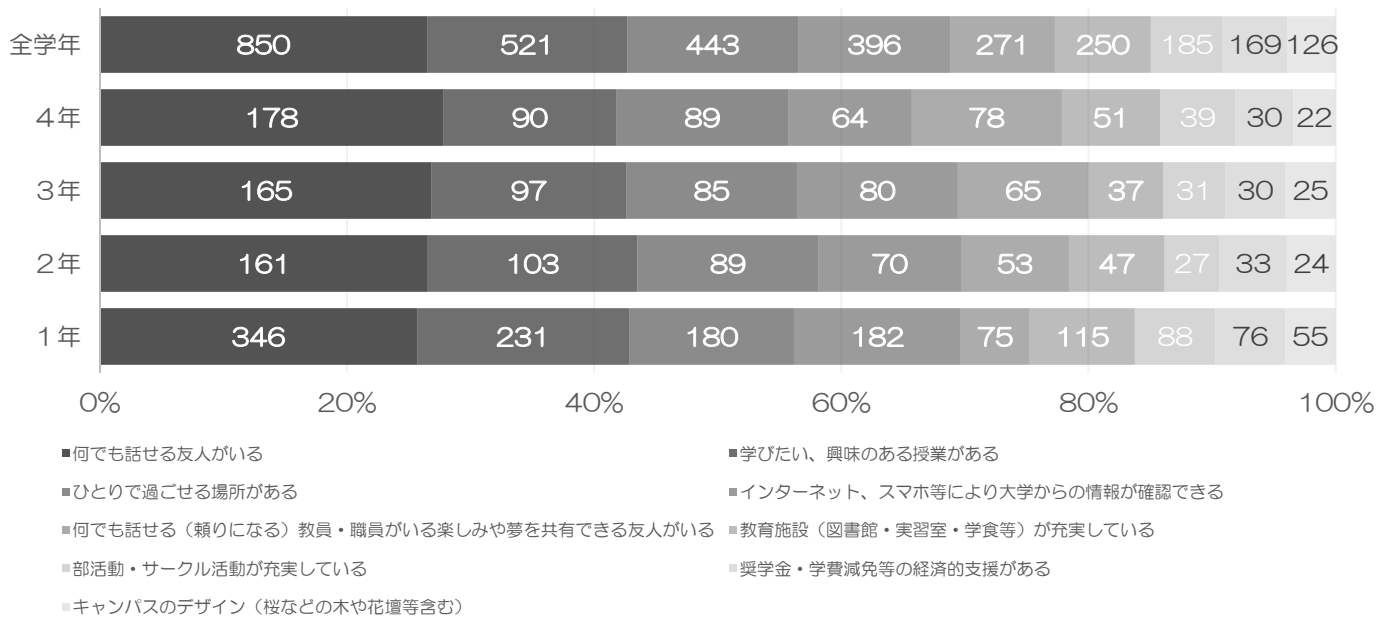


<まとめ>

- ◆ 活動時間のうち「その他」と回答した割合が高い順に、全体で「0%」は 90%、「10%」は 3%、「50%」は 2%の順であった。
- ◆ 「その他」の「0%」の割合が 90%であることから、活動時間の内容は前項でほぼ明らかになっていると考えられた。

4. 学生生活のどのようなところに満足していますか。（複数回答可）

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
何でも話せる友人がいる	346	26%	161	27%	165	27%	178	28%	850	26%
学びたい、興味のある授業がある	231	17%	103	17%	97	16%	90	14%	521	16%
ひとりで過ごせる場所がある	180	13%	89	15%	85	14%	89	14%	443	14%
インターネット、スマホ等により大学からの情報が確認できる	182	14%	70	12%	80	13%	64	10%	396	12%
何でも話せる（頼りになる）教員・職員がいる楽しみや夢を共有できる友人がいる	75	6%	53	9%	65	11%	78	12%	271	8%
教育施設（図書館・実習室・学食等）が充実している	115	9%	47	8%	37	6%	51	8%	250	8%
部活動・サークル活動が充実している	88	7%	27	4%	31	5%	39	6%	185	6%
奨学金・学費減免等の経済的支援がある	76	6%	33	5%	30	5%	30	5%	169	5%
キャンパスのデザイン（桜などの木や花壇等含む）	55	4%	24	4%	25	4%	22	3%	126	4%
計	1348	100%	607	100%	615	100%	641	100%	3211	100%

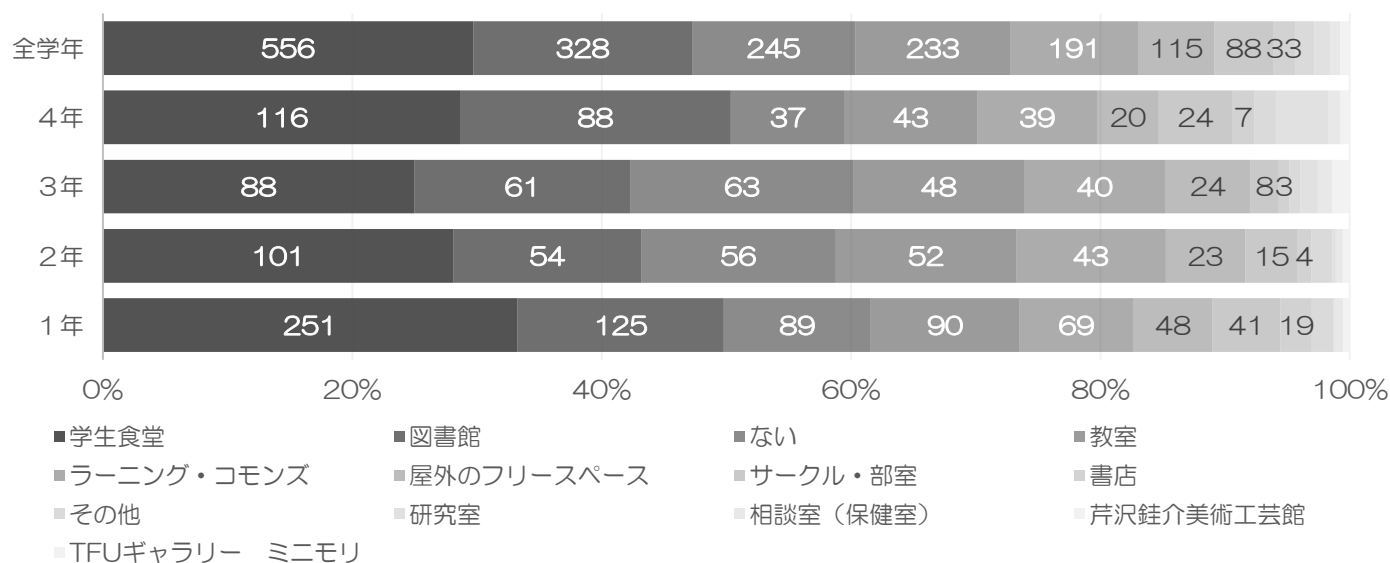


<まとめ>

- ◆ 学生生活のどのようなところに満足しているかについて、多い順に、「何でも話せる友人がいる」「学びたい、興味のある授業がある」「ひとりで過ごせる場所がある」「インターネット、スマホ等により大学からの情報が確認できる」であった。
- ◆ 学年別にみても、順位は同じであった。

5. 大学にくつろいで過ごせる場所がありますか。(複数回答可)

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学生食堂	251	33%	101	28%	88	25%	116	29%	556	30%
図書館	125	17%	54	15%	61	17%	88	22%	328	18%
ない	89	12%	56	16%	63	18%	37	9%	245	13%
教室	90	12%	52	14%	48	14%	43	11%	233	12%
ラーニング・コモンズ	69	9%	43	12%	40	11%	39	10%	191	10%
屋外のフリースペース	48	6%	23	6%	24	7%	20	5%	115	6%
サークル・部室	41	5%	15	4%	8	2%	24	6%	88	5%
書店	19	3%	4	1%	3	1%	7	2%	33	2%
その他	13	2%	6	2%	3	1%	7	2%	29	2%
研究室	1	0%	1	0%	5	1%	17	4%	24	1%
相談室(保健室)	5	1%	2	1%	4	1%	4	1%	15	1%
芹沢銈介美術工芸館	3	0%	2	1%	4	1%	2	0%	11	1%
TFUギャラリー ミニモリ	1	0%	0	0%	1	0%	1	0%	3	0%
計	755	100%	359	100%	352	100%	405	100%	1871	100%



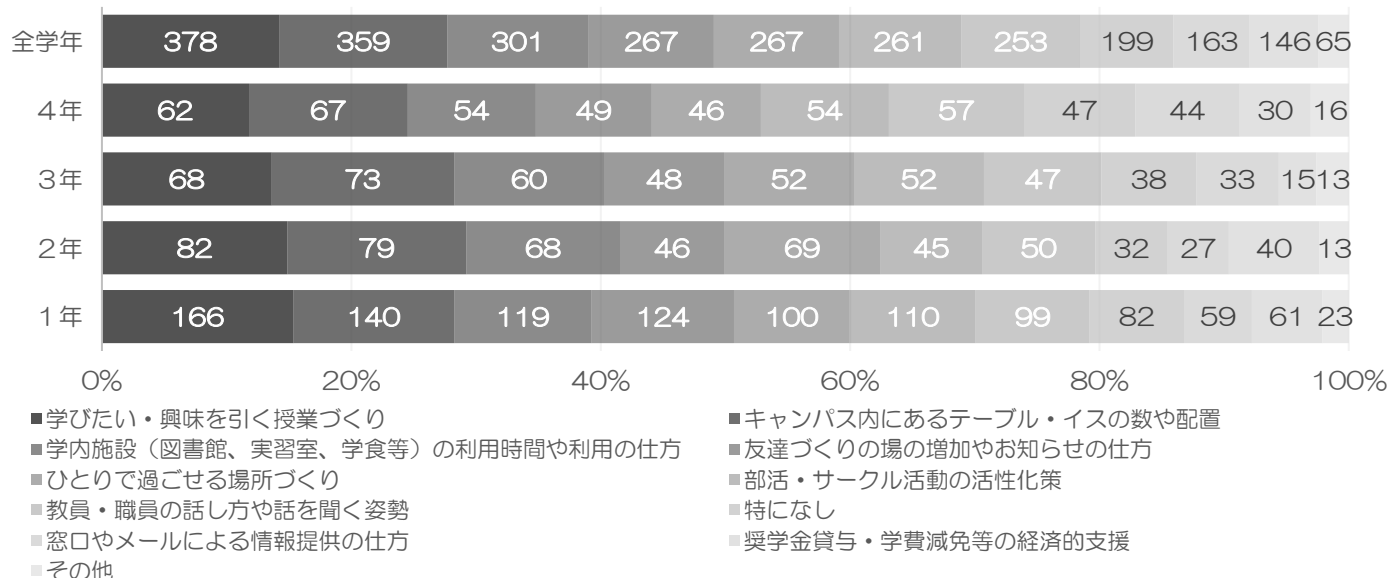
その他：自習室、学習室、坐禅堂、風土、181 ホール、トレーニングルーム

<まとめ>

- ◆ 本学にくつろいで過ごせる場所として、多い順に、「学生食堂」「図書館」「教室」「ラーニング・コモンズ」「屋外のフリースペース」であった。みんなで集まることのできる場所、静かに勉強できる場所などがあげられており、屋外のフリースペースは感染対策の影響があると考えられた。
- ◆ くつろいで過ごせる場所が「ない」の回答は13%であった。
- ◆ 「その他」として、自習室、学習室、坐禅堂などがあつた。

6. 学生生活の中で、もっと充実した学生生活をおくるために「改善してほしい」と感じているものは何ですか。
(複数回答可)

	1年生		2年生		3年生		4年生		全学年	
学びたい・興味を引く授業づくり	166	15%	82	15%	68	14%	62	12%	378	14%
キャンパス内にあるテーブル・イスの数や配置	140	13%	79	14%	73	15%	67	13%	359	14%
学内施設(図書館、実習室、学食等)の利用時間や利用の仕方	119	11%	68	12%	60	12%	54	10%	301	11%
友達づくりの場の増加やお知らせの仕方	124	11%	46	8%	48	10%	49	9%	267	10%
ひとりで過ごせる場所づくり	100	9%	69	13%	52	10%	46	9%	267	10%
部活・サークル活動の活性化策	110	10%	45	8%	52	10%	54	10%	261	10%
教員・職員の話し方や話を聞く姿勢	99	9%	50	9%	47	9%	57	11%	253	10%
特になし	82	8%	32	6%	38	8%	47	9%	199	7%
窓口やメールによる情報提供の仕方	59	5%	27	5%	33	7%	44	8%	163	6%
奨学金貸与・学費減免等の経済的支援	61	6%	40	7%	15	3%	30	6%	146	5%
その他	23	2%	13	2%	13	3%	16	3%	65	2%
計	1083	100%	551	100%	499	100%	526	100%	2659	100%



その他：

【学習スペース】ラーニング・コモンズの利用時間を七時ぐらいにまで伸ばしてほしい、風土の利用時間を長くしてほしい、会話しながら学習ができる屋内のスペースがほしい、自由に利用していい教室情報があると良い

【静かなスペース】1人で集中できる静かで清潔な場所が欲しい、1人で過ごせる場所を確保してほしい

【学食】学食の100円定食復活、学生食堂のメニューの数を増やしてほしい、ウェルCOMの学食を実施していただきたい、学食を夜までやって欲しい、パン屋さんの復活

【空調】暖冷房があまり効いておらず、自習するのがつらいので、もう少し温度調節に力を入れてほしい

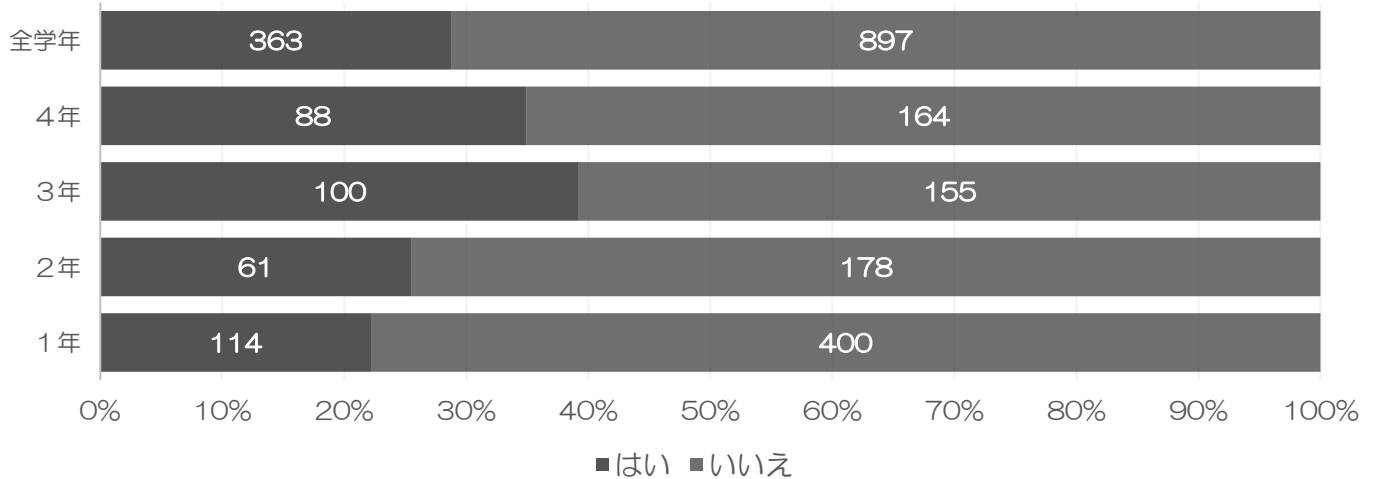
<まとめ>

◆ もっと充実した学生生活をおくるために改善してほしいものは多い順に、「学びたい・興味を引く授業づくり」、「キャンパス内にあるテーブル・イスの数や配置」、「学内施設の利用時間や利用の仕方」、「友達づくりの場の増加やお知らせの仕方」であった。

◆ その他では、【学習スペース】【静かなスペース】【学食】【空調】に関する内容があり、アンケートの選択肢と共通した具体例があげられていた。

7. 入学前に思い描いていた大学生活と現在の大学生活との間で大きな違いはありましたか。

	1年		2年		3年		4年		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
はい	114	22%	61	26%	100	39%	88	35%	363	29%
いいえ	400	78%	178	74%	155	61%	164	65%	897	71%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%



7-2. 「はい」と回答した方は、具体的な相違点をお聞かせください。

【忙しい、大変】

- ・大学生は忙しくないと思っていたけど、一年生から結構忙しく、大変だった。
- ・想像していたよりも、どの授業科目も課題の量が多くて驚きました。
- ・思ったより授業が多くて朝も早かった。
- ・授業とアルバイトの両立が思った以上にきつかった。
- ・想像以上に難しく、いそがしい。

【活動制限、交流が少ない】

- ・1年の頃はおおむねイメージに近かったが、2年以降はコロナ渦で活動制限が多く、大学生活を十分に満足できなかった。
- ・コロナによってイベントがなくなったり、友達との交流が減ったりサークルに入るタイミングを失ったりした。
- ・新型コロナウイルスの影響で学生や教員との交流が少ないように感じた。
- ・大学はたくさんの友人と交流して、サークルに入って先輩後輩関係なく関われるものだと思っていた。
- ・もっとわいわいしているものだと思っていた。
- ・全体的に地味だった。

【良い相違点】

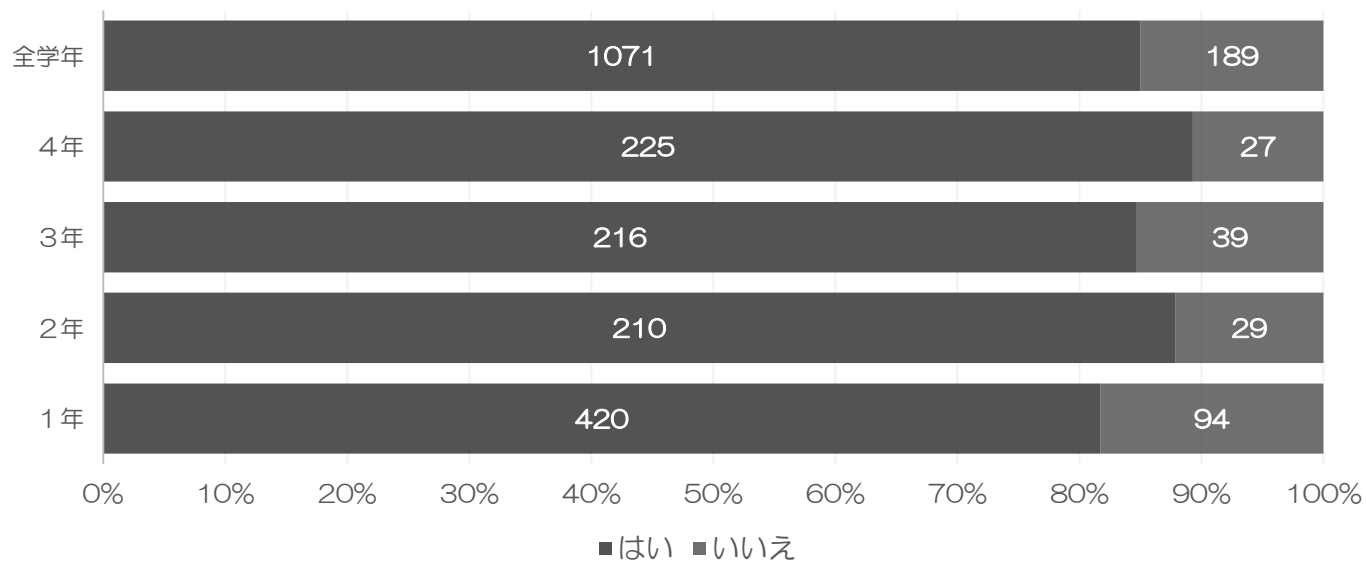
- ・想像していたことよりも様々な人々と交流ができて学生生活に満足している。
- ・大学生活に不安があったが、大学で仲良くしてくれた友達がみんな優しくおもしろい子が多くて学校生活が楽しく、充実できた。
- ・高校の方が楽しいイメージがあったけど、大学もとても楽しくて充実している。
- ・教授の方々が割と学生にしっかり寄り添って学びの場を提供してくれたことに驚いた。

<まとめ>

- ◆ 入学前に思い描いていた大学生活と現在で大きな違いがあったと回答した学生は 29%であった。
- ◆ 具体的な相違点として、【忙しい、大変】【活動制限、交流が少ない】などがあつた。
- ◆ 満足・充実など【良い相違点】もあげられていた。

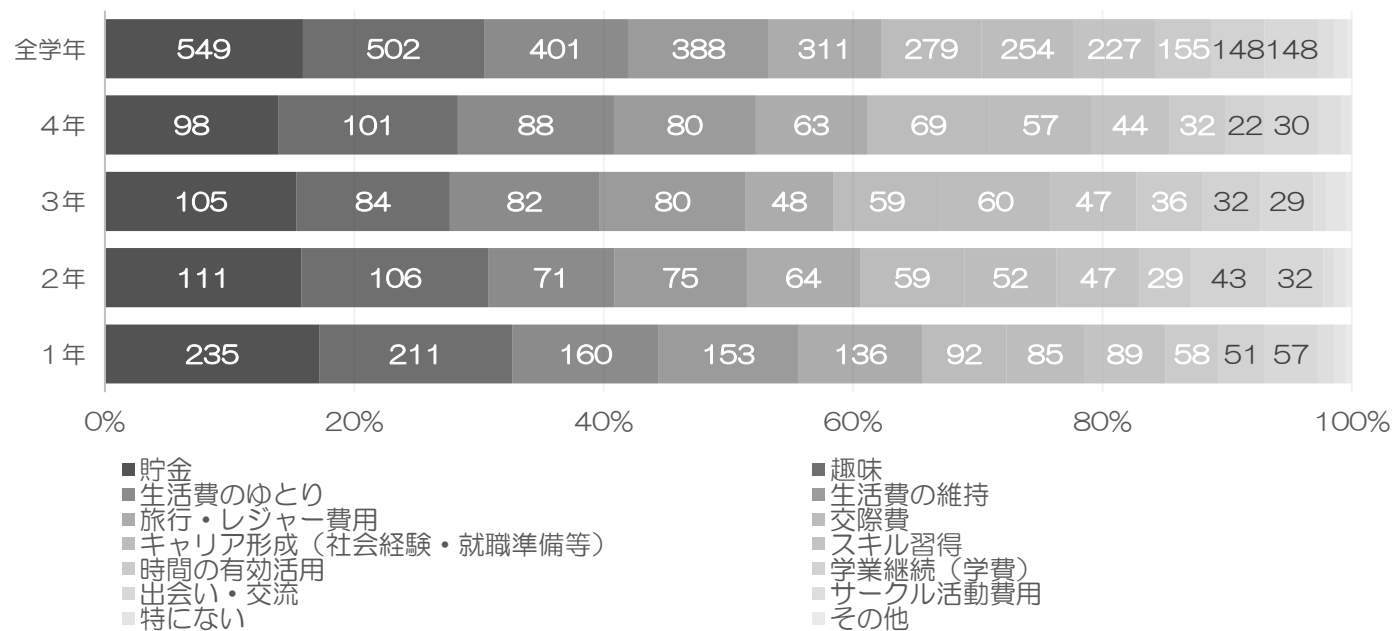
8. 入学後、何らかのアルバイトをしたことがありますか。

	1年		2年		3年		4年		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
はい	420	82%	210	88%	216	85%	225	89%	1071	85%
いいえ	94	18%	29	12%	39	15%	27	11%	189	15%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%



9. アルバイトの主な目的について（複数回答可）

	1年		2年		3年		4年		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
貯金	235	17%	111	16%	105	15%	98	14%	549	16%
趣味	211	15%	106	15%	84	12%	101	14%	502	15%
生活費のゆとり	160	12%	71	10%	82	12%	88	13%	401	12%
生活費の維持	153	11%	75	11%	80	12%	80	11%	388	11%
旅行・レジャー費用	136	10%	64	9%	48	7%	63	9%	311	9%
交際費	92	7%	59	8%	59	9%	69	10%	279	8%
キャリア形成（社会経験・就職準備等）	85	6%	52	7%	60	9%	57	8%	254	7%
スキル習得	89	7%	47	7%	47	7%	44	6%	227	7%
時間の有効活用	58	4%	29	4%	36	5%	32	5%	155	4%
学業継続（学費）	51	4%	43	6%	32	5%	22	3%	148	4%
出会い・交流	57	4%	32	5%	29	4%	30	4%	148	4%
サークル活動費用	19	1%	6	1%	7	1%	13	2%	45	1%
特にない	13	1%	7	1%	11	2%	5	1%	36	1%
その他	6	0%	3	0%	3	0%	1	0%	13	0%
計	1365	100%	705	100%	683	100%	703	100%	3456	100%



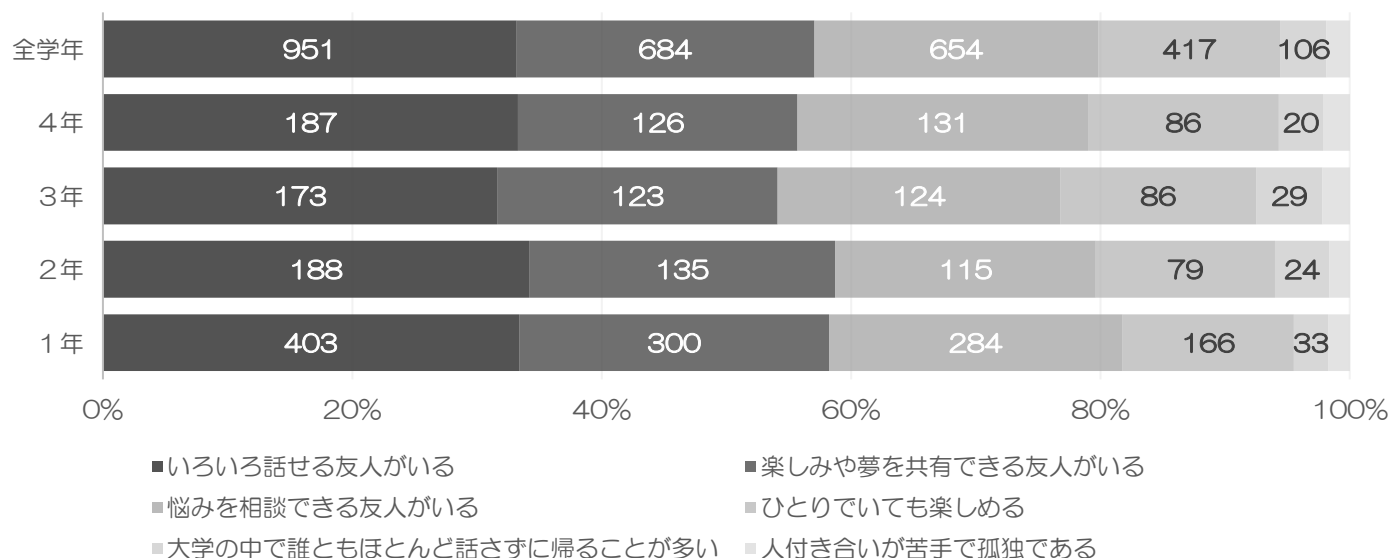
その他：携帯代、交通費、自動車の費用、自分のお小遣い、両親へのプレゼント、息抜き

<まとめ>

- ◆ 入学後、何らかのアルバイトをしたことがあると回答した学生は 85%であり、4年が 89%と多かった。
- ◆ アルバイトの主な目的は、多い順に、「貯金」、「趣味」、「生活費のゆとり」、「生活費の維持」、「旅行・レジャー費用」であった。うち、大学生生活を維持するための切実な理由と考えられる「生活費の維持」「学業継続(学費)」と回答した学生は 15%存在していた。
- ◆ また、就職を意識した理由と考えられる「キャリア形成(社会経験・就職準備等)」「スキル習得」は計 14%であり、3年が計 17%と最も多かった。1年でも計 13%おり、早くから就職を意識していることがうかがえた。

10. 人とのつながりについて（複数回答可）

	1年		2年		3年		4年		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いろいろ話せる友人がいる	403	33%	188	34%	173	32%	187	33%	951	33%
楽しみや夢を共有できる友人がいる	300	25%	135	25%	123	22%	126	22%	684	24%
悩みを相談できる友人がいる	284	24%	115	21%	124	23%	131	23%	654	23%
ひとりでいても楽しめる	166	14%	79	14%	86	16%	86	15%	417	15%
大学の中で誰ともほとんど話さずに帰ることが多い	33	3%	24	4%	29	5%	20	4%	106	4%
人付き合いが苦手な孤独である	21	2%	9	2%	12	2%	12	2%	54	2%
計	1207	100%	550	100%	547	100%	562	100%	2866	100%

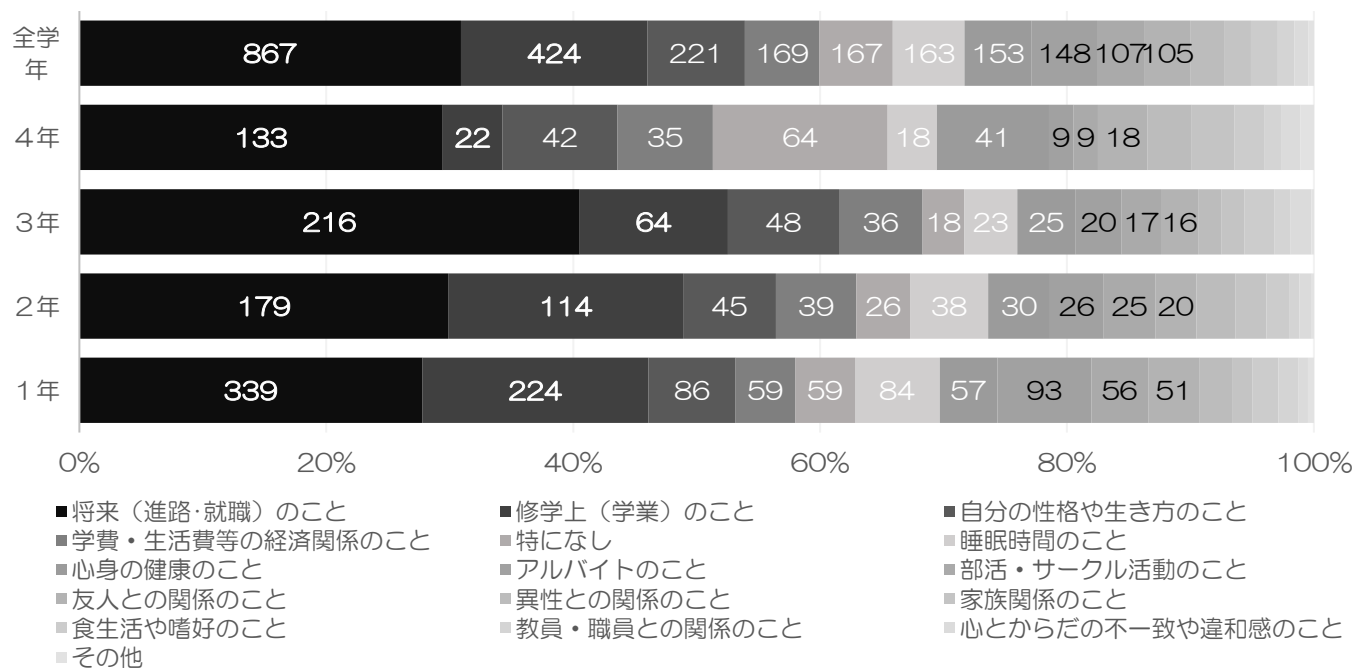


<まとめ>

- ◆ 人とのつながりについて、多い順に、「いろいろ話せる友人がいる」「楽しみや夢を共有できる友人がいる」「悩みを相談できる友人がいる」であった。また、「ひとりでいても楽しめる」と回答した学生は 15%であった。
- ◆ 一方、人とのつながりがあまりないと推測される「大学の中で誰ともほとんど話さずに帰ることが多い」は 4%、「人付き合いが苦手な孤独である」は 2%の割合であった。

11. 今抱えている不安や悩み、気になっていることはどのようなことですか。（複数回答可）

	1年		2年		3年		4年		全学年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
将来（進路・就職）のこと	339	28%	179	30%	216	41%	133	29%	867	31%
修学上（学業）のこと	224	18%	114	19%	64	12%	22	5%	424	15%
自分の性格や生き方のこと	86	7%	45	8%	48	9%	42	9%	221	8%
学費・生活費等の経済関係のこと	59	5%	39	7%	36	7%	35	8%	169	6%
特になし	59	5%	26	4%	18	3%	64	14%	167	6%
睡眠時間のこと	84	7%	38	6%	23	4%	18	4%	163	6%
心身の健康のこと	57	5%	30	5%	25	5%	41	9%	153	5%
アルバイトのこと	93	8%	26	4%	20	4%	9	2%	148	5%
部活・サークル活動のこと	56	5%	25	4%	17	3%	9	2%	107	4%
友人との関係のこと	51	4%	20	3%	16	3%	18	4%	105	4%
異性との関係のこと	32	3%	19	3%	10	2%	16	4%	77	3%
家族関係のこと	20	2%	15	3%	10	2%	16	4%	61	2%
食生活や嗜好のこと	26	2%	11	2%	13	2%	11	2%	61	2%
教員・職員との関係のこと	20	2%	5	1%	7	1%	6	1%	38	1%
心とからだの不一致や違和感のこと	9	1%	6	1%	9	2%	7	2%	31	1%
その他	6	0%	1	0%	1	0%	5	1%	13	0%
計	1221	100%	599	100%	533	100%	452	100%	2805	100%



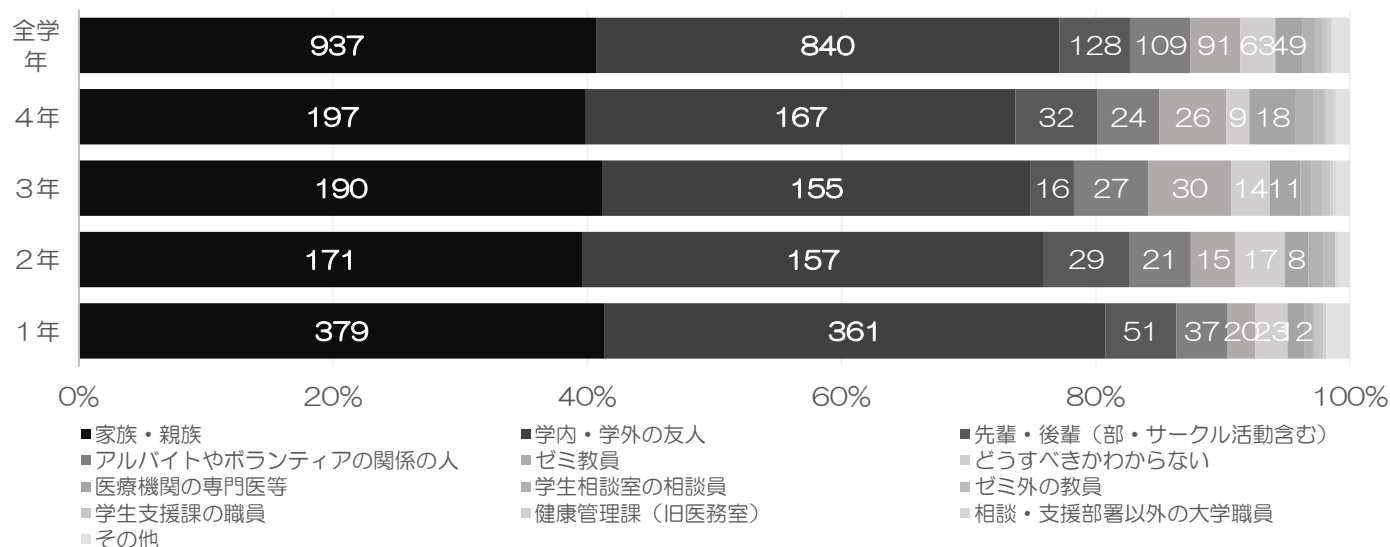
その他： 国家試験に合格できるか。4月から新社会人として新しい職場でうまくやっていけるか。家族の健康状態。やりたいことがあるのに体力が追いつかない。コロナのせいで心をふさぎ込んでしまうことが増えた。初対面の人やグループでの活動となるとまったく話せなくなる。

<まとめ>

- ◆ 今抱えている不安や悩み、気になっていることについて、「将来（進路・就職）のこと」が全体31%と最も多く、とくに3年は41%と多かった。
- ◆ つぎに「修学上（学業）のこと」15%、「自分の性格や生き方のこと」、「学費・生活費等の経済関係のこと」の順であった。その他では、アンケートの選択肢と共通した具体例があげられていた。

12. 身体面・心理面で悩みが生じた場合には、解決に向けて誰と相談しますか。(複数回答可)

	1年		2年		3年		4年		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家族・親族	379	41%	171	40%	190	41%	197	40%	937	41%
学内・学外の友人	361	39%	157	36%	155	34%	167	34%	840	36%
先輩・後輩(部・サークル活動含む)	51	6%	29	7%	16	3%	32	6%	128	6%
アルバイトやボランティアの関係の人	37	4%	21	5%	27	6%	24	5%	109	5%
ゼミ教員	20	2%	15	3%	30	7%	26	5%	91	4%
どうすべきかわからない	23	3%	17	4%	14	3%	9	2%	63	3%
医療機関の専門医等	12	1%	8	2%	11	2%	18	4%	49	2%
学生相談室の相談員	7	1%	5	1%	4	1%	7	1%	23	1%
ゼミ外の教員	1	0%	4	1%	4	1%	4	1%	13	1%
学生支援課の職員	6	1%	0	0%	3	1%	1	0%	10	0%
健康管理課(旧医務室)	2	0%	0	0%	1	0%	3	1%	6	0%
相談・支援部署以外の大学職員	0	0%	1	0%	1	0%	1	0%	3	0%
その他	17	2%	4	1%	5	1%	5	1%	31	1%
計	916	100%	432	100%	461	100%	494	100%	2303	100%



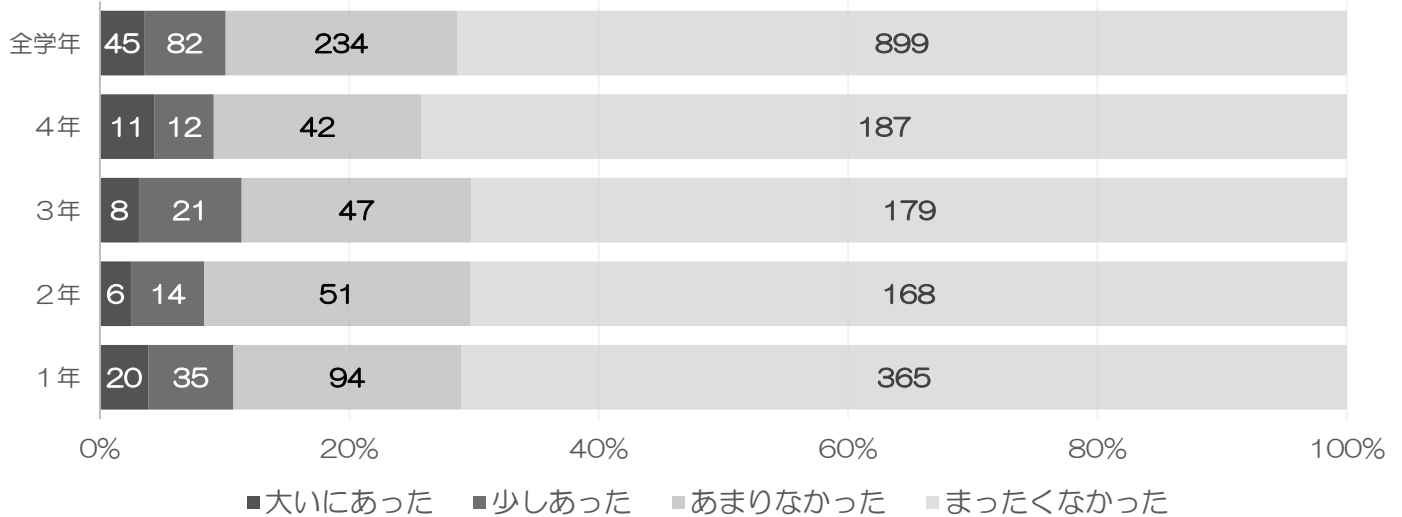
その他：ネットで同じような悩みを抱えた人の投稿を見る、相談しない、自分で解決

<まとめ>

- ◆ 身体面・心理面で悩みが生じた場合の相談について、「家族・親族」41%、「学内・学外の友人」36%と圧倒的に多かった。
- ◆ 「どうすべきかわからない」は3%であり、その他では、「ネットの投稿を見る」「相談しない」「自分で解決」など誰にも相談しない内容の回答がみられた。

13. 今年度を振り返って、大学を中途退学しようと思ったことはありますか。

	1年		2年		3年		4年		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大いにあった	20	4%	6	3%	8	3%	11	4%	45	4%
少しあった	35	7%	14	6%	21	8%	12	5%	82	7%
あまりなかった	94	18%	51	21%	47	18%	42	17%	234	19%
まったくなかった	365	71%	168	70%	179	70%	187	74%	899	71%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%



■大学を中途退学しようと思ったことが「4. 大いにあった」「3. 少しあった」と回答した、差し支えない範囲で具体的な理由

【進路】に関する理由

ここで学ぶ意味を見出せなかった（1年）、資格の選抜条件が厳しいなと思った（1年）、やりたいことが見つからなかった（3年）、進路に悩んで（3年）、就活がうまくいかなかった（3年）、大学2、3年生でほとんど校内に入ることが出来ず学校に通う意味があるのか疑問に思った（4年）

【学習面】に関する理由

勉強についていけなさそうだなと思ってしまった（1年）、学習に追いつくことができず心と体が一致することができなかった（1年）、学業の難しさに心が折れそうになった（1年）、学修とアルバイトの両立が困難なため（1年）、単位取得の面で不安があったため（2年）、勉強がつかかった（3年）

【経済面・家族関係】に関する理由

学費を払うのが難しくなりそうだった（1年）、家の事情で今は勉強するよりも働かなくてはいけないと感じた（1年）、金銭的に厳しい状況になった（2年）

【人間関係・健康面】に関する理由

友人関係のトラブル（1年）、友人関係や学業などにストレスを抱えた（1年）、サークルのやることに追われて眠れずに体調を崩していた（2年）、体調不良（2年）、居心地が悪かった（3年）

【楽しくない・つまらない】

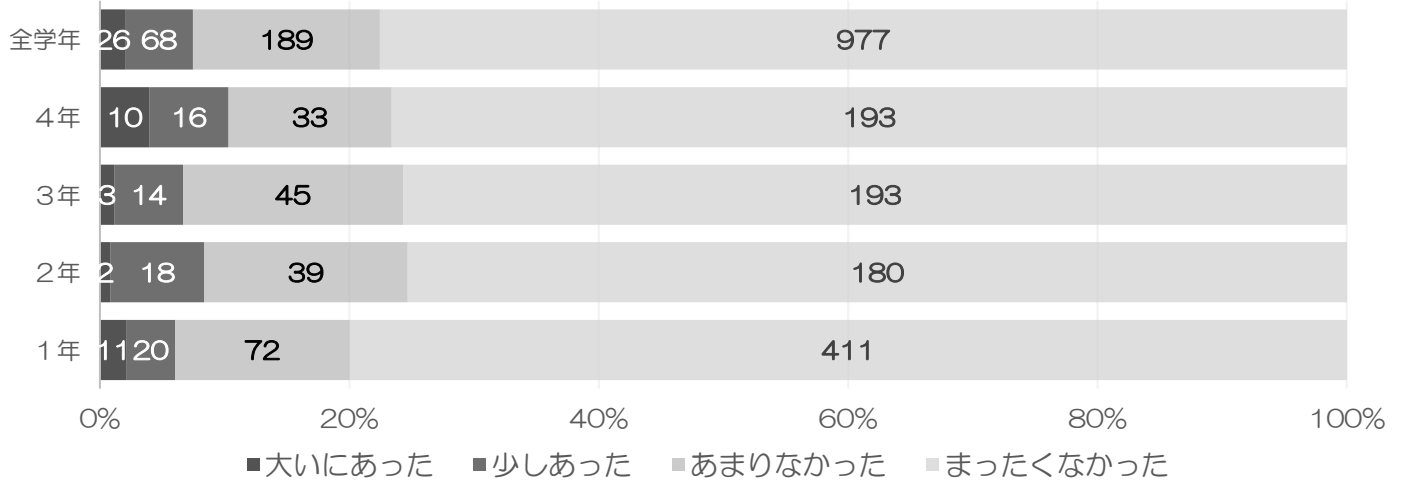
大学生活が楽しくなかった（1年）、学校がつまらなくなった（1年）、授業がつまらないと感じていた（4年）

<まとめ>

- ◆ 中途退学を考えたことが「まったくなかった」は71%であった。
- ◆ 中途退学を「大いに」4%、「少し」7%、全体で11%考えていたことがわかった。
- ◆ 学年別では、1年と3年が「大いに」「少し」考えたが11%とやや多い傾向であった。
- ◆ 中途退学を考えた理由として、【進路】【学習面】【経済面・家族関係】【人間関係・健康面】に関する理由があった。
- ◆ 【楽しくない・つまらない】という表現の理由もみられた。

14. 今年度を振り返って、大学を休学しようと考えたことはありますか。

	1年		2年		3年		4年		全学年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大いにあった	11	2%	2	1%	3	1%	10	4%	26	2%
少しあった	20	4%	18	8%	14	5%	16	6%	68	5%
あまりなかった	72	14%	39	16%	45	18%	33	13%	189	15%
まったくなかった	411	80%	180	75%	193	76%	193	77%	977	78%
計	514	100%	239	100%	255	100%	252	100%	1260	100%



■大学を休学しようと考えたことが「4. 大いにあった」「3. 少しあった」と回答した、差し支えない範囲で具体的な理由

【進路】に関する理由

違う職業に勤めたいと考えたから（1年）、目指している職業に向いてないと思った（2年）、就活に不安があるから（3年）

【学習面】に関する理由

勉強についていける自信がなくなった（1年）、これから先自分が授業についていけるのか、パソコンへ慣れられるのか不安（1年）、勉強がいそがしくて嫌になった（1年）、1年生であまりにも単位をとれなかったから（3年）

【経済面・家族関係】に関する理由

授業料の用途がたたなかった（2年）、祖父母の介護をしている母が体調を崩した時（2年）、学費を払ってもらえなかったから。今は奨学金を借りられることになったので休学するつもりはない（3年）

【人間関係・健康面】に関する理由

体調不良（1年）、精神的に落ち込んでしまった（1年）、友人関係が面倒になった（1年）、体調管理が難しく授業にいけなかった（3年）、精神的に疲れた（3年）、心身の体調を崩した（4年）

【留学】に関する理由

留学したいという思いが強くなったから（1年）、留学に興味があるから（2年）、留学のため（4年）

<まとめ>

- ◆ 休学を考えたことが「まったくなかった」は78%であった。
- ◆ 休学を「大いに」2%、「少し」5%、全体で7%考えていたことがわかった。
- ◆ 学年別では多い順に、4年が計10%、2年が計9%であった。
- ◆ 休学を考えた理由として、【進路】【学習面】【経済面・家族関係】【人間関係・健康面】に関する理由など、前項の中途退学と重複する理由が多くみられた。経済面に関する理由においては、奨学金により休学を回避できた記述があった。
- ◆ さらに、休学では【留学】という前向きな理由もあげられていた。